Creative Enzymes®

ネイティブ微生物 クレアチニナーゼ

Cat. No. NATE-0163

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	Pseudomonas sp. 由来のクレアチニナーゼは、サブユニットあたり28.4 kDaの分子量を持つホモヘキサマー酵素です。これは、クレアチニンをクレアチンに可逆的に□換するサイクリックアミドヒドロラーゼです。各モノマーは、βストランドのC末端近くと主なαヘリックスのN末端に二核亜鉛中心を含んでいます。これらの亜鉛イオンは、活性部位の位置を示しています。
用途	この酵素は、臨床分析においてクレアチンアミジノヒドロラーゼ、サルコシン脱水素酵素、またはサルコシンオキシダーゼおよびホルムアルデヒド脱水素酵素と結合することで、クレアチニンの酵素的測定に有用です。
別名	EC 3.5.2.10、クレアチニンヒドロラーゼ；クレアチニナーゼ；9025-13-2

製品情報

由来	微生物
形態	スクロースとBSAを安定剤として含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.5.2.10
CAS登□番号	9025-13-2
分子量	分子量 ~175 kDa
活性	100-300 ユニット/mg タンパク質
等電点	4.7
pH安定性	pH 7.5 − 9.0 (5°C, 16時間)
最適pH	6.5 − 7.5
熱安定性	70°C未□（pH 7.5、30分）
最適温度	70°C
ミカエリス定数	3.2 x 10¯2M（クレアチニン）、5.7 x 10¯2M（クレアチン） 構造：酵素1モルあたり6つのサブユニット（各サブユニットに1モルの亜鉛が結合している）
阻害剤	Ag+, Hg++, N-ブロモスシニミド, EDTA
単位定義	1ユニットは、pH 8.0および25°Cで、1.0 mmoleのクレアチニンをクレアチンに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C